



きれいな学校 輝く笑顔 ～J(授業)A(挨拶)S(清掃)MI(身だしなみ)N(仲間)～

大久保中だより

〒338-0815 さいたま市桜区五関282

Tel 048-852-3554 Fax 048-840-1430

Mail Address : okubo-j@saitama-city.ed.jp

「きっと君は“うま”くいく」「人間万事塞翁が馬」ポジティブに生きよう!!

校長 新井 敬二郎

新年明けましておめでとうございます。平成26年甲午(きのえうま)を迎えました。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。馬は『ものがとが“うま”くいく』『幸福が駆け込んでくる』などと言われる、縁起のいい動物です。また、生まれたての子馬は生後1時間ほどでしっかりと立ち上がり、3時間もしないうちに駆けることができるようになることから、『立ち上がり早い』とか『立身出世の象徴』とも言われています。草原を自由に駆け回る馬のように、活発な陽のエネルギーを前面に出して、さらに元気で明るい飛躍の年になることを心から願っています。

ところで、みなさん「ゲンを担ぐ」ということがありますか。辞書によれば、ある物事に対して、以前に良い結果が出た行為を繰り返す行いで吉兆をおしはかること。縁起を気にする事で、「験担ぎ」とも言います。Gooランキングで調べてみたら、「受験生の皆さんが合格するためにゲン担ぎでやったことがあるランキング」というのがありました。①お札・お守りを買う ②神社に参拝する ③豚カツを食べる ④おまじない ⑤スキー場・スケート場など滑るところに行かない ⑥キットカットなどゲン担ぎお菓子を食べる ⑦五画形のエンピツを使う ⑧盛り塩をする ⑨ペットと触れ合う ⑩靴を右足から履く の順だそうです。スポーツ選手にもゲンを担ぐ人が多く、例えば野村克也さんは、「連勝していたら負けるまで同じパンツをはいている」昭和の怪物江川卓さんは、開幕前夜、「阪神には虎屋の羊羹、中日なら名古屋のういろ。ヤクルトはそのままグッと呑み込み、カープが相手だと広島名物のカキフライで、大洋には鯨を食べる」と決めていたそうです。イチロー選手になると、朝は毎日カレーを食べ、昼食は同じピザ、さらに靴を履く順番から、ドアを開ける手まで、非常に細かいのが特徴です。「僕は朝、家を出てからグラウンドに上がるまで、全て行動が決まっているんです。それを一つ一つこなしていくうちに、自然と鈴木一朗からイチローへと切り替わるんです」ここまでくると「ゲン担ぎ」というより「ルーティン(routine)」と言うべきで、決められた一連の動き、リズム、自分の型をつくることで、プロフェッショナルな精神を長年保つことができているのでしょう。



人間万事塞翁が馬

中国の故事によるもので、人生の吉凶は予測できない、長い時間の中で初めてわかるものであること。中国の塞翁(辺鄙な場所にすむおじいさん)の馬がとなりの国に逃げていき困り果てていました。が、その馬は後に子を産んで駿馬を連れて戻ってきました。塞翁一家は大喜びし、その駿馬に息子が乗り、やがて落馬して大けがをしてしまいました。しかしその怪我のおかげで、となりの国との戦争が起きた時に出征しないですみ、無事に安楽に暮らすことができたという中国の故事によるものです。

午年で、験担ぎもしたから何事も大丈夫と安心してはいけません。「人事を尽くして天命を待つ」ということばあるように、まずやるべきことをやった上で結果を待ちましょう。「本気で取り組む」「ベストを尽くす」ことはすべての基本だと思います。大久保中学校は、本年も「JASMIN」を合言葉に、さわやかな学校教育の推進に向けて、全職員一丸となって教育活動に取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

大久保地区小・中一貫教育目指す児童生徒像 「ふるさとを愛し 志高く生きる 心優しい大久保の子ども」